

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2021-57352 (P2021-57352A)

【公開日】令和 3 年 4 月 8 日 (2021.4.8)

【年通号数】公開・登録公報 2021-017

【出願番号】特願 2020-219408 (P2020-219408)

【国際特許分類】

H 0 1 B 1/22 (2006.01)

B 2 2 F 9/00 (2006.01)

B 2 2 F 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 B 1/22 A

B 2 2 F 9/00 B

B 2 2 F 1/00 M

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 11 日 (2021.5.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも、ニッケル粉と、分散移行促進剤と、ビヒクルとを含有し、
前記ビヒクルは、原料のバインダー樹脂の酸量が $114.9 \sim 300 \mu\text{mol/g}$ であり、

前記分散移行促進剤の含有量は、前記ニッケル粉 100 質量部に対して $0.16 \sim 3.0$ 質量部であり、

ニッケル濃度が $50 \sim 70$ 質量%であり、ペーストの粘度が $8 \sim 150 \text{ Pa} \cdot \text{s}$ であるニッケルペースト。

【請求項 2】

前記分散移行促進剤は、陰イオン型界面活性剤構造を有する分散移行促進剤又は高分子構造を有する分散移行促進剤である

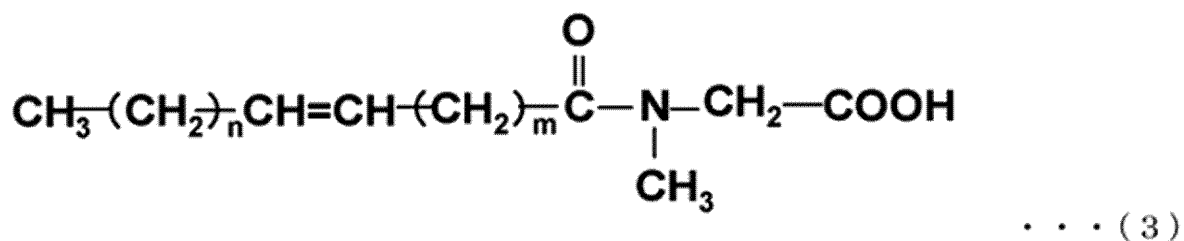
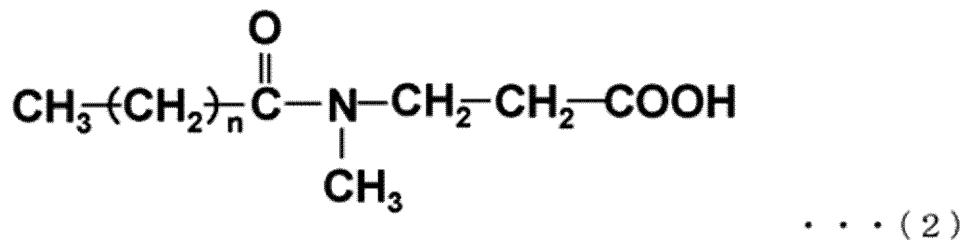
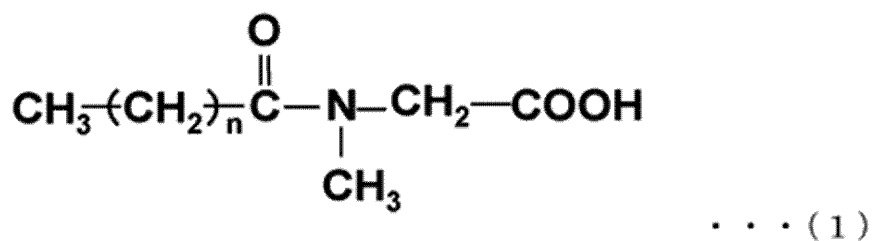
請求項 1 に記載のニッケルペースト。

【請求項 3】

前記分散移行促進剤は、陰イオン型界面活性剤構造を有する分散移行促進剤であり、下記一般式 (1) ~ (3) に示す化合物から選択される 1 種以上である

請求項 1 又は 2 に記載のニッケルペースト。

【化 1】



(ただし、式(1)、(2)において、nは、10～20の整数である。式(3)において、m、nは、 $m+n=12\sim20$ の関係を満たす。)